2/00 @Int. Cl. A 61 M

庁内整理番号 (T) 識別記号 331

個公開 平成 4年(1992) 7 月20日

8119-4C

(全4頁) വ 請求項の数 有 審査請求

### 点滴注射液残量警報器 国考案の名称

5年		5年		
台灣台中黎明路2段588-6	台湾台中黎明路 2段492号	台湾台中黎明路 2段588 - 6	台湾台中黎明路 2 段492号	外1名
甜	树	即	磁	煙
缺	母	羅	趣	中國
₩	峃	₩	窗	并理士
神	枊	$\prec$	$\prec$	$\prec$
₩	₩		靈	獸
圆线	园	H ©		<b>B</b> A
	案 者 李 點 旭	案 者 李 嘉 旭 台灣台中黎明路 2段588- 案 者 邱 健 盛 台灣台中黎明路 2段492号	案 者 本 嘉 旭 台灣台中黎明路 2 段 588 -   案 者 邱 磁 台灣台中黎明路 2 段 492 号   顧 本 嘉 旭 台灣台中黎明路 2 段 588 -	案 者 本 點 店 台灣台中黎明路 2 段 588 -   案 者 邱 庭 台灣台中黎明路 2 段 688 -   顧 人 本 嘉 由 台灣台中黎明路 2 段 588 -   顧 人 邱 健 整 台灣台中黎明路 2 段 588 -

### 砂実用新案登録請求の範囲

- 1 その上下端面中央位置に、点滴注射液瓶吊掛 け用支承フレーム90に掛着する吊り約10及 び点滴注射液瓶を下げ保持する吊り鈎11をそ れぞれ設けたハウジング1内に、調節可能な設 定重量値になると電気信号を発振する重量検知 装置と、この信号により作動される警報装置を 設けてなる点滴注射残液残量醫報器。
- 2 上記重量検知装置が、その中央部を上記注射 液瓶の吊り約11に固着連結し、一端20を上 記へウジング1内側壁に繋着され、街舗21を フリーにして該吊り約11の吊掛け重量に対応 してひずみ変形する片持ちばね板2と、該ばね **液瓶重量について重量値設定を施し、上記前**間 増幅回路40と並列する設定回路5とからな 板2の変形盤を感知するひずみセンサー3と、 0及び比較器回路41を備えた電気回路切換部 44と、上記吊り約11に吊り掛けた点滴注射 抜ひずみセンサー3に連線する前置増幅回路4

上記器報装腦が、該比較器回路41に直列連 線する発声回路6または液晶類示回路7或いは 両者を併設して形成され、

を上記前置増幅回路 4 0 が増幅して該比較器回 路41に送り込み、該比較器回路41が、その ら送り込んだ点滴注射液瓶重量の設定数値に比 上記ひずみセンサー3からのひずみ変形信号 受け取つたひずみ変形信号を上記設定回路5か

み変形信号を電気信号に変換して上記発声回路 6または液晶顕示回路7或いは両者共に出力 較し、かつ、その設定数値の範囲内にあるひず し、警報を発させるようにしてなる請求項1) 記載の点滴注射液残量繁報器。

- ジング1中心線にある該ハウジング1の上下両 3 上紀吊り鈎10,11が、それぞれ上記ハウ **矯面中央位置に設けられてなる請求項1)記載** の点滴注射液幾量警報器。
- 4 上記ひずみセンサー3が、電気抵抗32,3 3をそれぞれに直列連線した二つの互いに並列 する可変電圧30,31からなる請求項2)配 載の点滴注射液残量醫報器。
- 収納し、かつ、両者の間に電線を連接してなる のハウジング1'に組合わせて装着し、その他 請求項2)ないし4)の何れかに記載の点滴注 上記ばね板2と上下吊り約10,11を一つ の装置をもう一つのハウジング1に組合わせて 射液残量警報器。

#### 図面の簡単な説明

体分解図で、第2図はこの考案の点滴注射液残量 整報器の電気回路配置図で、第3図はこの考案の 点滴注射液残量警報器使用状態表示図で、第4図 固着表示図で、第5図A,Bはこの考案おける他 第1図はこの考案の点摘注射液残量繁報器の立 A, Bはこの考案の点滴注射液残量警報器におけ る電気回路変換装置設計表示図及び点摘チューブ の実施例の表示図で、第6図A,Bはこの考案に

図は従来の点滴注射液残量警報器の使用表示図で おけるばね板に関する他の実施例表示図で、第7

…ひずみセンサー、4……電気回路切換部、5… … 設定回路、6 ……発声回路、1 ……被品類示回 路、10……ハウジング上緒面の吊り数、11… 1, 1、……ハウジング、2……ばね板、

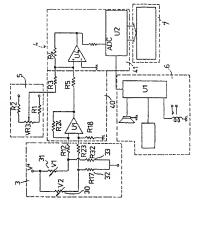
⊠ -無

グ内壁に固着されるばね板の一端、21……ばね 板のフリーにされた一緒、30,31…… 回変電 圧、32,33.....電気抵抗、40.....前置増幅 回路、41……比較器回路、90……点滴注射液 瓶吊掛け用支承フレーム。

X 0

無

実開 平4-83341(2)



4 왮

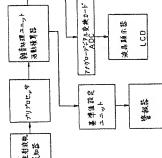
> X m 無

X

X (B)

4 無

> 活動積算器 (A) プリプロセッサ 基準值設定 卖海注慰疫税 重量成知器





 $\boxtimes$ 

桶正 平 4. 1.23

実用新案登録請求の範囲、図面の簡単な説明を 点滴注射液残量警報器 考案の名称を次のように補正する。 図考案の名称

## **⑤実用新案登録請求の範囲**

次のように補正する。

- け用支承フレーム90に掛着する吊り約10及 び点滴注射液瓶を下げ保持する吊り鈎11をそ れぞれ設けたハウジング1内に、調節可能な設 定重量値になると電気信号を発振する重量検知 装置と、この信号により作動される警報装置を 1 その上下端面中央位置に、点滴注射液瓶吊掛 設けてなる点滴注射液残量醫報器。
- と、上記吊り約11に吊り掛けた点滴注射液瓶 2 上記重量検知装置が、その中央部を上記注射 ずみセンサー3に連線する前置増幅回路40及 重量について重量値設定を施し上記前置増幅回 液瓶の吊り約11に固着連結し一端20を上記 ハウジング1内側壁に螺着され他端21をフリ 一にして該吊り約11の吊掛け重量に対応して ひずみ変形する片持ちばね板2と、該ばね板2 の変形量を感知するひずみセンサー3と、該ひ び比較器回路41を備えた電気回路切換部44 路40と並列する設定回路5とからなり、

線する発声回路6または液晶顕示回路7或いは 上記警報装置が、該比較器回路41に直列連 両者を併設して形成され、

上記ひずみセンサー3からのひずみ変形信号 を上記前置増幅回路40が増幅して該比較器回 ら送り込んだ点滴注射液瓶重量の設定数値に比 し、警報を発させるようにしてなる請求項1) 路41に送り込み、該比較器回路41が、その 受け取ったひずみ変形情号を上記数定回路5か 較し、かつ、その設定数値の範囲内にあるひず み変形信号を電気信号に変換して上記発声回路 6または液晶顕示回路7或いは両者共に出力 記載の点摘注射液残量醫報器。

# 実開 平4-83341(4)

- ジング1中心線にある該ハウジング1の上下両 **端面中央位置に設けられてなる請求項1) 記載** 3 上記吊り鈎10,11が、それぞれ上記ハウ の点滴注射液残量警報器。
- 3をそれぞれに直列連線した二つの互いに並列 する可変電圧30,31からなる請求項2)記 4 上記ひずみセンサー3が、電気抵抗32,3
- のハウジング1、に組合わせて装着し、その他 5 上記ばね板2と上下吊り鈎10,11を一つ 収納し、かつ、両者の間に電線を連接してなる 請求項2)ないし4)の何れかに記載の点摘注 の装置をもう一つのハウジング1に組合わせて 載の点滴注射液残量整報器

#### 図面の簡単な説明

射液残量繁報器。

点滴注射液残量整報器使用状態表示図で、第4図 固着表示図で、第5図A, Bはこの考案おける他 第1図はこの考案の点摘注射液残量整報器の立 体分解図で、第2図はこの考案の点滴注射液残量 醫報器の電気回路配臘図で、第3図はこの考案の A, Bはこの考案の点滴注射液残量醫報器におけ の実施例の表示図で、第6図A, Bはこの考案に 図は従来の点滴注射液残量警報器の使用表示図で る電気回路変換装置設計表示図及び点滴チューブ おけるばね板に関する他の実施例表示図で、第7

…数定回路、6……発声回路、7……液晶顕示回 1, 1、……ハウジング、2……ばね板、3… 路、10……ハウジング上端面の吊り鈎、11… 版のフリーにされた一端、30,31……可変電 圧、32,33 ····· 電気抵抗、40 ·····前置增幅 回路、41……比較器回路、90……点滴注射液 …ひずみセンサー、4 ……電気回路切換部、5 … …くセジング下緒両の吊り筏、20……くセジン グ内壁に固着されるばね板の一端、2 1……ばね 瓶吊掛け用支承フレーム。 **55**°